

職員による自己評価

A 環境面
 密集しすぎないようにしている。
 アルコール消毒液常備。

B 児童への支援内容
 療育の結果や効果を踏まえて目標設定と振り返りを随時行っている。また、視覚的な支援ツールを使用し利用者の特性に配慮している。
 アセスメントツール使用。

C 関係機関との連携
 必要に応じて家庭訪問、保育園、幼稚園への訪問を行っている。また、小児救急、強度行動障害等の研修や、協議会、子ども部会に参加している。
 利用者が障害のない子どもと交流する機会はない。

D 保護者への説明責任・信頼関係
 利用開始時に運営規定、利用者負担について説明している。
 個別支援計画を保護者に説明し、6ヶ月に1度モニタリングを行い、同意を得ている。
 保護者からの子育ての悩み、申し入れに対しては、サービス提供中に随時対応している。

E 非常対応
 毎月、避難訓練を実施している。

保護者による評価

A 環境面
 人数が多い日は狭く感じる。
 国際資格を持った先生で信頼しています。
 いつも清潔にいただいています。

B 児童への支援内容
 毎月、その月に合った課題がある。
 その日の子どもの調子に合わせて支援してくれる。
 困ったことはいつでも相談できて、良いアドバイスをくれる。
 いつでも相談に乗って頂け、相談内容については、すぐに解決案を出して頂けます。
 障害のない子どもと交流する機会はないが、保育園に行っているため、求めています。

C 事業所からの情報発信
 保護者会はないが、いつでも話せる。
 運営規定、利用者負担等について、契約のときに説明があった。

D 非常対応
 避難訓練が実施されている。



事業所内での分析

【共通点】

- ・児童への支援内容に満足している。
- ・保護者からの子育ての悩み、申し入れに対しては、サービス提供中に随時対応している。
- ・利用者が障害のない子どもと交流する機会はない。
- ・保護者会はないが、保護者同士がいつでも話せる環境である。
- ・運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされている。

【相違点】

- ・人数が多い日は狭く感じる。
- ・障害のない子どもと交流する機会はないが、子どもが保育園に行っている保護者のなかには、当事業所において障害のない子どもとの交流は求めているとの声があった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・児童への支援に対する保護者の満足度が高い。
- ・毎月新しい活動プログラムを実施し、児童発達支援計画に沿った支援が行われている。
- ・保護者からの子育ての悩み、申し入れに対しては、サービス提供中に随時対応している。
- ・保護者会はないが、保護者同士がいつでも話せる環境である。
- ・運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされている。

事業所の改善点

- ・人数が多い日は狭く感じる。
- ・地域連携が少ない。

事業所の改善への取り組み

- ・クラスあたりの児童数が、6人以上にならないよう、保護者のスケジュール調整を徹底する。
- ・来所時の手洗いの呼びかけや、こまめな換気により、新型コロナウイルス感染対策をおこなう。
- ・地域との連携を強め、地域に開かれた運営となるよう努める。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今回の自己評価では、活動スペースに対する認識の違いが明らかになった。
新型コロナウイルス感染対策を徹底し、保護者が安心して事業所を利用できるよう改善に努めたい。

公表：令和2年3月19日

事業所名 ひまわり ABA 教室（発達療育レンタル名古屋）

担当者 宇賀伸一、今枝早希